



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
 令和5年7月24日(月)
 第 3 号
 〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1
 電話 0155-55-2121
 F A X 0155-55-2122

清掃で「誰か」を幸せにする生徒たち

校長 太田 千佳子

4年ぶりに一般公開の学校祭を開催。幕別分校単独で地域の方々をお呼びするのは初めての学校祭。「うまくできる?」「本当にお客様は来る?」と不安もありながら、当日を迎えることとなった生徒や先生たちでしたが、結果的には、「よかったね」「楽しかったね」の声をたくさんの生徒や保護者から聞くことができました。

学校祭の準備を頑張ってきた生徒たち、先生たち、本当にお疲れ様でした。そして足を運んでくださった全ての皆様、本当にありがとうございました。

学校祭の最後の連絡で生徒会から「家に帰るまでが学校祭です。気を付けて帰りましょう」とありましたが、生徒たちは休み明けの登校後、学校祭の後片付けに汗を流していました。

黙々と後片付けをするその姿に、いつも作業学習で清掃を学ぶ生徒たちが「片付ける」「きれいにする」を大切にしていることを実感しました。

そんなことを思いながら、先日、学校にいらっしゃったお客様が清掃について話していたことを思い出しました。

「そうじは、自分自身を見つめ直す時間になります・・・」

「そうじは、自分自身の内面が磨かれます・・・」

「そうじは、そこに訪れる人を笑顔にします・・・」

力強くおっしゃるそのお客様と「お掃除って奥が深いんですね」と話が盛り上がりました。

清掃作業の際に、生徒は技術だけではなく、一緒に清掃する相手のこと、その場所を使う誰かのことを思いながら仕事をするを学びます。その思いは、清掃することそのものを“楽しい”と思うことにつながります。

いつも作業学習で清掃を学ぶ生徒たちのおかげで、幕別分校はいつもピカピカです。学校だけではなく、幕別町内のいろいろな場所でその技術を生かしながら清掃を行う生徒たちは、きれいにすることで誰かが笑顔になることを知っています。

学校祭の後片付けを見て、きっと生徒たちは、「誰かの幸福感」をイメージしながら取り組んでくれているのだろうな、と頼もしく思えるのでした。



幕別分校Twitterより「学校祭の後の片付け」



生徒玄関を掃除する生徒たち



格技場を清掃する生徒たち

学校祭

7月7日（金）8日（土）の2日日程で第11回星華祭（学校祭）が開催されました。

1日目は、生徒会執行部が企画した『〇×クイズ』や『ビンゴ大会』で大いに盛り上がりました。有志ステージでは、カラオケやコント、津軽三味線などで会場の気分を最高潮まで上げてくれました。コロナ禍での昼食は、焼肉弁当でしたが、今年は、みんなで楽しく会食する焼肉（ジーンズカン）パーティーを実施することができました。

2日目の午前は、各クラスで二次調理した食品を提供する模擬店や幕別町社会福祉協議会様から借用したグッズで行った縁日で来場者をもてなしました。そして、新たな取り組みとして、生徒の接客技術向上や学校祭のPRとして十勝管内で活躍されているキッチンカーの力をお借りしました。午後からは、各学年で企画したダンスやコント、マジックショーなどで学校祭を締めくくりました。

今年はコロナ禍以前に実施していたことを再開したり、新たな取り組みに挑戦したりと、幕別分校単独での学校祭で一般公開を初めて実施することができました。

学校祭は御理解、御協力いただいた保護者、地域の皆様のおかげで大成功で終えることができました。誠にありがとうございました。

（生徒指導・保健体育部：津辻 貴之）



学校見学会・作業学習体験会

6月13・14日の2日間に渡り、学校見学会・作業学習体験会が行われ、十勝管内の小中学校から延べ152名の児童生徒・保護者・教員の方に参加いただきました。

幕別分校の教育について、産業総合科について、教育相談について説明を行い、その後校舎内の見学をしていただきました。また、4年振りに作業学習の体験も行われ、本校の3年生が中学2・3年生に窓ふきとポリッシャーの作業方法を教え、体験してもらいました。3年生にとっては、相手に伝えることの難しさや喜びを感じる良い機会となりました。学校としては、幕別分校の特徴や作業学習での取り組み、地域との連携についてアピールする機会にもなりました。

参加された方からは、「産業総合科に魅力を感じた。」「学習内容も作業内容もとても興味深かった。」などのお言葉をいただきました。幕別分校に興味を持って頂いた方、進路先として検討して頂いている方は、ぜひ教育相談を受けていただくようお願いいたします。いつでもお待ちしております。

（教務・研究部：岡田 匡史）

